


令和4年度 富良野市立山部小学校グランドデザイン

【北海道の基本理念】
「自立」と「共生」


【富良野市教育推進計画】
「自立と共生の未来を拓く
心豊かでたくましい人を
育む」



学校教育目標

21世紀を あたたかく、かしこく、たくましく 生きぬく子ども

【合い言葉】
おもしろく
まじめに
がんばる



「学校評価」より（事実）

- 挨拶ができるようになりつつある。
- いじめに対する善悪の判断ができる。
- 基本的な知識・技能が身に付いている。
- 体を動かすことが好きな児童が多い。
- 道徳の日常的な実践ができる。
- 課題を見つけて学習できる。
- 意識的に健康な生活を送れる。

● 成果

○ 課題

令和3年度各種調査から（根拠）

- 全国学力・学習状況調査の国語が全国平均以上
- 同上、国語「話すこと聞くこと」、算数「測定」の分野が特によい。
- 新体力テストの立ち幅跳びとボール投げが全国平均を上回っている。
- チャレンジテストの国語で条件付作文
- 同上、「数と計算」の思考・判断・表現に課題あり。
- 新体力テストのシャトルランがかなり全国平均を下回っている。長座体前屈も全学年低い数値である。

令和4年度 重点目標

「自ら考え、判断し、行動できる子ども」の育成

- ✚ 自他のよさを認め合い、思いやりの心をもつ子（あたたかく）
- ✚ 進んで学び、知識を活用できる子（かしこく）
- ✚ 進んで心と体を鍛えられる子（たくましく）

育成を目指す資質・能力

	徳【あたたかく】	知【かしこく】	体【たくましく】
知識及び技能	・進んで挨拶し、ルールを守って生活できる。	・基礎的学力と学習規律が定着している。	・健康や安全の基礎知識をもち、基本的な運動技能を身に付ける。
思考力・判断力・表現力	・善悪の判断ができ、多様な価値観を認めることができる。	・学んだ知識を生かして、筋道を立てて説明できる。	・運動の工夫、生活習慣の課題について考えることができる。
学びに向かう力・人間性	・夢をもち、自己や社会をよりよく高めようとする。	・自分で課題を見つけ、協働して学習できる。	・運動に親しみ、体力・生活習慣の向上を目指そうとする。

学校の具体的な取組

あたたかく（心育部）

- 挨拶向上の取組の継続
 - ・教職員の率先した声掛け
 - ・児童主体の取組の推進
- 道徳的実践力の向上
 - ・重点目標に「善悪の判断」「思いやり」「相互理解」
- 自己有用感を育む特別活動の推進
 - ・意見を出し合い認め合う学級活動や児童会活動の充実
 - ・「フレンドハピピス」の継続
- 危機管理能力の育成
 - ・SNSの正しい使い方指導

かしこく（知育部）

- 複式授業の効果的な実施
 - ・学習規律の定着による主体性の育成
 - ・チャレンジテスト等の繰り返し学習
- 記述力の育成を目指した授業改善
 - ・言語活動の充実
- 協働的な学びにおけるICTの効果的活用
 - ・実践交流における共有や改善
- 家庭との連携
 - ・教育相談や家庭訪問等の見直し
 - ・家庭学習習慣の定着

たくましく（体育部）

- 基本的な運動技能を身に付ける取組
 - ・持久力、柔軟性等の向上を図る指導法の工夫
- 運動と健康の課題解決への取組の充実
 - ・授業における「作戦、工夫」の位置づけ
 - ・食育の継続と自己課題の明確化
- 新体力テストの活用と家庭との連携
 - ・自己ベストへの目標の意識化
 - ・望ましい生活習慣の育成
 - ・感染症などの病気の予防と怪我の防止